

令和 7年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：農地活用担当

内線：4120

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P15	見沼農業活性化対策事業				一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	見沼農業振興対策費	
事業期間	平成12年度～	根拠法令	なし				針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール 2
							分野施策	1001	みどりの保全と創出	SDGsターゲット 2-4
1 事業概要 貴重な都市近郊緑地空間である見沼田圃を保全・活用・創造していく上で、見沼農業が果たす役割は極めて重要となっている。 このため見沼農業の振興対策、支援体制の整備及び公有地化農地活用対策を講じ、見沼田圃の保全・活用・創造を図る。 (1) 農業経営指導事業 7千円 (2) 見沼農業支援体制整備事業 651千円 (3) 公有地化農地活用対策事業 44,634千円					5 事業説明 (1) 事業内容 ア 農業経営指導事業 7千円 見沼田圃における農業経営及び生産技術を指導する。 イ 見沼農業支援体制整備事業 651千円 市民農園教室や農業体験教室など都市住民を対象とする農業体験イベントの開催や、農地調整活動等の業務を農林公社に委託する。 ウ 公有地化農地活用対策事業 44,634千円 公有地化農地の有効活用を図るため、公有地管理業務を農林公社に委託する。 (2) 事業計画 ア 担い手の組織的活動の推進、栽培技術研修会等の開催、市・J A等関係機関との連携、地域農業イベントの支援 イ 市民農園教室や農業体験教室の開催、見沼田圃内の農地の担い手へ農地集積を図るための情報収集・情報提供 ウ 公有地化農地の適正管理 (3) 事業効果 都市と調和した特色ある見沼農業が営まれることで、見沼田圃の保全・活用・創造に資する。 【活動指標(アウトプット)】 ア 市民農園教室、農業体験教室等の開催 令和6年度見込み8回, 令和5年度実績13回, 令和4年度実績8回, 令和3年度実績9回, 令和2年度実績4回 イ 公有地管理面積 令和6年度見込み12.0ha, 令和5年度実績11.9ha, 令和4年度実績12.6ha, 令和3年度実績12.7ha, 令和2年度実績12.2ha 【成果指標(アウトカム)】 都市と調和した特色ある農業振興と適切な土地利用の実現 (4) その他 見沼田圃全面積 約1,262ha(うち農地約532ha) 見沼田圃内公有地 約33ha					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円										

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		繰入金							
決定額	45,292	44,634						658	1,795
前年額	43,497	42,839						658	

事業内訳書

事業名	見沼農業活性化対策事業		
単位事業名	農業経営指導事業	予算額	7千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7	0	
合計	7	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	2	0	研修会・講習会等 2千円
役務費	5	0	資料発送代等 5千円
合計	7	0	

単位事業名	見沼農業支援体制整備事業	予算額	651千円
-------	--------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	651	0	
合計	651	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	651	0	見沼農業支援体制整備事業費 651千円
合計	651	0	

単位事業名	公有地化農地活用対策事業	予算額	44,634千円
-------	--------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ さいたま環境創造基金繰入金	44,634	1,795	
合計	44,634	1,795	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	12	0	公有地管理現地確認等 12千円
委託料	44,622	1,795	公有地化農地復元・管理作業費 42,891千円 都市住民交流拠点運営費 1,731千円
合計	44,634	1,795	